

志賀原発は**廃炉**だ！3.16 県民集会

開場 13:00

3月16日(日) 13:30~16:30

金沢市ものづくり会館 2階研修室

金沢市粟崎町 4-80-1 Tel 076-255-1518

☆参加費無料(カンパ歓迎)



1部 講演 福島原発震災から学ぶ能登半島地震

講師 吉田 千亜 さん



よしだ ちあ さん 1977年生まれ。フリーライター。主に東京電力福島原発事故の取材を続けている。『孤塁 双葉郡消防士たちの3・11』(岩波書店)で講談社 本田靖春ノンフィクション賞(第42回)、日隅一雄・情報流通促進賞 2020 大賞、日本ジャーナリスト会議(JCJ) 賞受賞。『ルポ母子避難 消されゆく原発事故被害者』(岩波新書)、『その後の福島 原発事故後を生きる人々』(人文書院)、近著に『原発事故、ひとりひとりの記憶——3・11から今に続くこと』(岩波ジュニア新書)。

2部 パネルディスカッション 原発震災を考える

—あのととき 志賀原発の事故が重なっていたら—

大地震が地域に甚大な被害をもたらすと同時に原発事故も発生させ、被ばくを恐れ被災地には応援部隊や救援物資も届かない。交通網の寸断で避難も困難となり、発生する被ばく被害は放置される——これが原発震災です。能登半島地震による地域壊滅という現実、多くの人に原発震災の恐怖を突き付けました。被災現場で活動する消防、警察、自衛隊、ボランティアはもちろん、住民避難や物資の輸送を担う運転手、病院、学校、福祉施設関係者ら災害対応の最前線で活動する人たちは職務遂行と被ばくリスクの狭間で葛藤を強いられます。

パネラーには能登半島地震の被災地で活動した人を招き、さらに福島原発事故の際の消防士の活動を取材し、自治体への取材も続けている吉田千亜さんも交え「原発震災」について議論を深め、志賀原発のリスクをあらためて問う場にしたいと思います。

主催 志賀原発を廃炉に！訴訟 原告団/さよなら！志賀原発ネットワーク/石川県平和運動センター/
原水爆禁止石川県民会議/社民党石川県連合/石川県勤労者協議会連合会

TEL (076) 261-4657 Homepage <https://shika-hairo.com/>